

エコのことなら
僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol. 9

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画推進担当(☎282-1711 内線1454)



「押延ため池いこいの森」がきれいになりました！

自然共生社会部会



1月24日、今年度3回目となる押延ため池周辺の整備活動を行いました。この場所は平成25年から整備を進めており、公益財団法人日本生態系協会の選定による関東・水とみどりのネットワーク拠点百選にも「押延ため池いこいの森」として選ばれているところです。

かじかむような寒さの中でしたが、中丸地区や協賛団体の皆さん、地元の小学生など19人が参加し、ごみ拾いや下草刈りに精を出しました。背丈ほどもある藪を整備し、道路から土砂や落ち葉を取り除くと、太陽の光が冬枯れの木立を透かし、地面に美しい影を落としていました。

この整備活動は、今後も続けていきますので、ぜひ多くの皆さんにご参加いただき、村民が憩える森にしていきたいと思えます。看板も設置していますので、ぜひ一度ご覧ください。



生ごみリサイクルの先進地を見学しました

循環型社会部会



1月22日、埼玉県久喜市の久喜宮代衛生組合に行き、モデル地区で実践している、専用袋による生ごみの分別収集と、堆肥化の様子を見学してきました。モデル地区では、およそ1万世帯を対象として、平成21年度から分別収集を開始。週2回の可燃ごみの日に、可燃ごみと生ごみを別々に回収し、生ごみとビニール袋を分別した後、微生物を利用した「HDMシステム」といわれる生ごみ減容処理で、堆肥化を行っています。季節的な条件もありますが、気になる臭いはほとんどありませんでした。回収と処理に手間は掛かりますが、堆肥としてモデル地区や学校等の公共施設に配られ、園芸などに利用されているそうです。

また、昨年11月に開催された「東海」～MOのまつり」の際には、キッチン3か条のチラシ(右図)を配布しました。可燃ごみの約30パーセントを占めるといわれる生ごみですが、「使いきり」「食べきり」「水切り」の3か条を推奨しながら、ごみの減量化を呼び掛けました。生ごみの水気をよく切って出すことは、ごみ焼却施設の省エネルギーにもつながりますので、実践していきましょう。

**キッチン3か条で
いやな生ごみも
すっきり!!**

- 1 使いきり**
買い物をするときは、必要な食材だけ購入し、買い過ぎに注意しましょう。買った食材は使い切りましょう。
- 2 食べきり**
食べ物は大切に、残さず食べよう！残したものは上手に保存したり、アレンジして別な料理にしたりして食べきりましょう。
- 3 水切り**
生ごみの水分は腐敗を進め、悪臭の原因となります。ごみを出す前に、水分を減らす工夫をしましょう。
★野菜の皮などはシンクにいれず、できるだけ濡らさない工夫をしましょう。
★ごみ出し前にギュッと水切り！

嫌な臭いが減る！
ごみも軽く持って汚れない！ごみ出しもラクラク！
ごみ袋の節約でお財布にもやさしい！